

特集2

スポーツ産業イノベーション フォーラムinうるま市

～沖縄のスポーツ産業創出とクラスター化を目指して～



島袋うるま市長

また、スポーツ庁参事官(地域振興担当)の仙台光仁氏から来賓を代表してご挨拶をいただきました。

冒頭の主催者挨拶では、島尻安伊子内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策)から「沖縄経済の活性化には、沖縄らしい産業の創出が不可欠。スポーツ関連の取組を全力で応援していく」と挨拶がありました。続いて共同主催者であるうるま市・金武町企業立地推進協議会の島袋俊夫会長(うるま市長)から「環金武湾地域では、広域の取組としてスポーツを軸とした産業の創出を目指している」とお話しがあり、スポーツと観光などのサービス産業を融合させ地域を活性化させていきたいと意気込みを語りました。

開会挨拶

沖縄総合事務局では、2月28日にうるま市役所本庁3階大講堂にて、「スポーツ産業イノベーションフォーラムinうるま市」を開催しました。このフォーラムは、沖縄における新たな産業として、スポーツ産業の創出とクラスター(※1)化を目的に、当局とうるま市・金武町企業立地推進協議会が連携して開催したものです。

※1 クラスターとは、本来「ぶどうの房」を意味し、その名の通りぶどうの房のように、企業、大学、研究機関、自治体等が相互の連携、競争を通じて新たな付加価値イノベーションを創出する状態を言います。

トークセッション

元プロラグビー選手でトップリーグの三洋電機(現・パナソニック)ワイルドナイツで活躍した福永昇三氏、オリンピック柔道3連覇を果たした柔道家の野村忠宏氏、阪神タイガースで活躍したプロ野球解説者の松山進次郎氏が登壇し、アスリートから見た沖縄の魅力語りしました。また、沖縄を拠点にしたスポーツアカデミーを目指す企業「株式会社アスリートアイランド」の設立発表がありました。



島尻特命担当大臣

続いてサッカー元日本代表の高原直泰氏が登壇し、うるま市・金武町・宜野座村を活動拠点としたサッカーチーム「沖縄SV(エス・ファウ※2)」の立ちあげや、選手達の紹介がありました。高原氏は「住民票もうるま市に移して住んでいる。」と、まさに沖縄に骨を埋める覚悟でという意気込みを語りました。また、フォーラムの昼食時間には、沖縄SVの選手達による子供を対象にしたサッカー教室が開催されました。

続いてサッカー元日本代表の高原直泰氏が登壇し、うるま市・金武町・宜野座村を活動拠点としたサッカーチーム「沖縄SV(エス・ファウ※2)」の立ちあげや、選手達の紹介がありました。高原氏は「住民票もうるま市に移して住んでいる。」と、まさに沖縄に骨を埋める覚悟でという意気込みを語りました。また、フォーラムの昼食時間には、沖縄SVの選手達による子供を対象にしたサッカー教室が開催されました。



左より、福永氏、野村氏、松山氏

※2 沖縄SV(エス・ファウ)とは、「沖縄Sport-Verein」の略称。ドイツ語で「オキナワ・シュポルト・フェアアイン」と呼び、「沖縄スポーツクラブ」の意味です。

基調講演

株式会社野村総合研究所の石井宏司氏は「スポーツビジネスには、時間産業の側面がある。実はスポーツだけでビジネスをするというよりも、他の産業との掛け合わせによって産業が広がっていく。スポーツを楽しむかけがえない時間を過ごす中で、ITや宿泊、食、医療といった産業の繋がりを生み出しやすい。」とご説明をいただきました。

慶應義塾大学スポーツ医学総合センター教授の松本秀男氏からは、「スポーツ医学の分野では、アスリートの怪我の予防やパフォーマンス向上のために選手の身体能力、プレーの様子などを測定することがある。現状では研究施設内などの限定された空間で取り組むことが多いが、沖縄は実環境での測定を容易にできる可能性がある。IT関連の環境を整えば、さらに他地域とは差別化できる。」とご意見をいただきました。

パネルディスカッション

兼島規氏（沖縄懇話会幹事・那覇空港ビルディング株式会社代表取締役社長）、松下正之氏（琉球大学

医学部長）、松本秀男氏（慶應義塾大学スポーツ医学総合センター教授）、瑞慶覧康博氏（沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課長）、仙台光仁氏（スポーツ庁参事官（地域振興担当）、牧野守邦（内閣府沖縄総合事務局経済産業部長）が登場し、「沖縄におけるスポーツ産業クラスター形成に向けて」と題し議論を交わしました。ディスカッションの中では、「スポーツ医学拠点の設置」、「スポーツビジネス人材の育成・集積」、「スポーツエキスポの開催」の3つテーマに沿って議論が深められました。また、これらを継続的に議論し、実行力をもつて進めて行くことの重要性が指摘され、「沖縄スポーツ産業クラスター推進協議会（仮称）」設置への期待が寄せられました。



パネルディスカッションの様子

その他

沖縄SVの選手達による市民とふれあいイベント（サッカー教室）を開催したほか、会場内には協賛したスポーツ関連ビジネスを紹介するブースも設置され、スポーツを基軸とした地域振興や産業の広がりをPRしました。



サッカー教室の様子

まとめ

今後、沖縄が持つ「地の利」、「知の基盤」、「地域資源」といった魅力を生かしながら、スポーツビジネスの新しい付加価値を創出するイノベーションな環境づくりのため、産学医金官の各ステークホルダーで構成する「沖縄スポーツ産業クラスター」の形成を目指していきます。



高原氏と沖縄SVのメンバー